

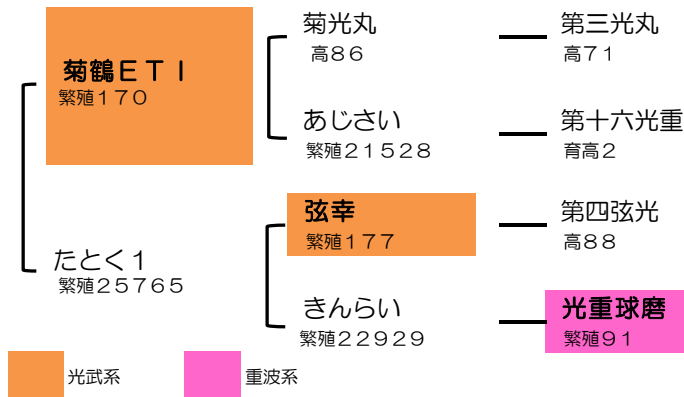
熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2023

きくゆき

褐毛和種種雄牛「菊幸」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 本牛は、当時、歩留基準値、脂肪交雑の育種価が県内トップクラスだった母牛と枝肉重量、ロース芯面積、脂肪交雑の能力に優れる「菊鶴ETI」の交配により作出されました。両親の遺伝的特徴を引き継ぎ、検定成績では、枝肉重量の全体平均が500kgを超え、BMSNo.の全体平均が4.9と優れており、肉量、肉質両面の改良への貢献が期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 6頭	24.5	528.0	60.2	8.3	3.2	73.3	5.3	100.0% (6/6)
雌 10頭	25.4	513.6	59.5	8.4	4.1	72.7	4.6	90.0% (9/10)

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	628.6kg
ロース	78cm ²
ばら厚	10.1cm
BMSNo.	8
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	2.53
ロース芯面積	小さい							大きい	1.53
ばらの厚さ	薄い							厚い	2.48
皮下脂肪の厚さ	厚い							薄い	-1.11
脂肪交雑	少ない							多い	2.09

標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同一スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。